

# おかけのこ

七ツ森古墳(竹田市)の彼岸花

## ―過去最大の予算規模― 災害復旧・復興と 「新型コロナウイルス」対策を

九月九日に開会した二〇二〇年第三回定例県議会は、九月二十九日の上程議案に対する採決が行われ、二十一日間にわたる全会議日程を終えました。

今議会では、令和二年七月豪雨による災害復旧・復興対策と新型コロナウイルス対策に係る補正予算の編成を議決しました。なお、これに伴う本年度の予算総額は七千七百五十四億円を超え、過去最大規模となりました。

### 「コロナ禍」に加え、 またもや自然災害

今回の七月豪雨では、県内十九の観測地点のうち九地点で四十八時間雨量が観測史上最大を記録し、被害額は平成二十四年・二十九年の九州北部豪雨を上回る状況でした。

県は今議会で事業化された予算と「復旧・復興推進計画」に基づいて本格的な復旧・復興を進めていきます。

### 検査・医療提供体制の充実、 社会経済の再活性化

「新型コロナウイルス」に対しては、これから季節性のインフルエンザの流行期を踏まえた検査対応を考える必要があります。

PCR検査に加え、抗原検査を組み合わせた体制整備と重点医療機関における高度医療設備の整備等を支援し、受入体制を強化していきます。

また同時に、新しい生活様式へ挑戦するベンチャー企業等の後押しするほか、先端技術を活用した産業創出の加速など、県経済の再活性化にも取り組んでいかなければなりません。  
(事業概要は裏面に掲載)



## 2020年第3回 定例県議会 一般質問・答弁

詳細はHPから 大分県議会 検索

### 九月に招集された第三回 定例県議会にて、私は次の 六つのテーマに関する一般 質問を行いました。

- 一、地域公共交通
- 二、持続可能な観光
- 三、花に関連する施策
- ①花き生産振興と消費拡大
- ②花を通じた教育
- 四、新交通管理システムの運用状況と利用拡大
- 五、ダム等の洪水調整機能
- 六、戦争遺跡の保存・伝承

### ―持続可能な観光―

(木田) 国内外に及ぶコロナ禍に加え、今年の七月豪雨災害により、本県の観光関連産業は、過去に比較できないほど甚大かつ深刻なダメージを受けております。こうした外的要因に対する脆弱性を克服し、観光産業を持続可能なものへ再構築していく必要があります。

うに考えるのか、見解をお尋ねいたします。

(答弁) サービスの高付加価値化による宿泊単価の引き上げなど経営力の向上を図るほか、県内や近県への旅行、いわゆるマイクログツトリズムやワーケーション等の「新しい旅のかたち」に対応した誘客の取組により、観光産業の構造転換を進めます。雄大な自然と人間社会が共生する形でこれらの地域が発展する「持続可能な観光」の視点が重要です。自然と調和したアクティビティの開発などにより、大分の観光の更なる魅力向上に取り組んでまいります。

### ―花を通じた教育―

(木田) 子どもたちに身近に花に触れる機会を設け、花を通じて自然を感じてもらい、癒しや安らぎ、感動の心を育む土壌をつくらうと、NPO法人と県等との共催による「夢一輪運動」が取り組まれております。

現状、この事業の会場が大分市のみとなっているため、参加する小学校は大分市周辺の学校に限られていますが、全県下の子どもたちに教育の一環としてこうした機会が設けられないものかと感じるところです。全県下の子どもたちに花の素晴らしさを伝えるためには、学校において主体的な取組が重要だと思いますが、県教育委員会として、農林水産部と連携して、今後どのように取り組んでいくのかお聞かせください。



(答弁) 夢一輪運動では、子どもたちから「心がポカポカになった」「花との出会いが宝物にしたい」などの感想が寄せられており、豊かな心の育成に繋がっていると考えています。県内各市町村では「花いっぱい運動」が盛んに行われており、子どもたちは年間を通じて活動に取り組んでいます。県教育委員会としても関係機関の協力を得ながら、花に関わる様々な活動を通して、豊かな感性が育まれるよう支援していきます。

### ―戦争遺跡の保存・伝承―

(木田) 先の大戦の終結から七十五年が経ち、今や戦後生まれの世代は総人口の八十五%と、戦争体験者から平和の尊さを学ぶ機会が失われつつある今、悲劇の体験をどうやって継承していくのかが問われています。現在、全国各地の戦争遺跡の老朽化と保存が課題となつています。戦争の記憶が遠のきつつある今、「もの言わぬ証言者」として戦争遺跡の存在意義はとて重要で、遺跡には書籍や映像を上回る伝える力があると思えます。戦争の現実と、おびただしい命と引き換えに得た「教訓」を後世に引き継ぐ事は永遠に変わることのない大切なことです。本県の戦争遺跡の調査・保存、そして平和の尊さを継承する取組について考え

Oita Prefectural Assembly 大分県議会 インターネット中継

県議会ホームページにて  
一般質問の中継録画を視聴できます

コロナ禍の関係で、団体での議会傍聴をご遠慮いただいております。県議会HPにて、一般質問の全録画をご視聴できますのでご案内します。  
(<http://www.oita-pref.stream.jfit.co.jp/>)  
→「議員から選ぶ」→「木田昇」を選択





# 「新型コロナ」「7月豪雨災害」対策事業概要

補正予算の成立により、7月豪雨による甚大な被害に対し、道路・河川・農地等の復旧を進めるとともに、被災事業者への支援が行われます。また、新型コロナウイルス感染症拡大防止と、新しい生活様式を踏まえた社会経済の再活性化との両立に向けた取組が進められます。  
(予算額は既決予算との累計)

## 【補正予算総額】

71,122,189千円

## 1. 令和2年豪雨災害復旧・復興対策

### ①商工業、観光への支援

#### 1. なりわい再建支援事業

被災した中小企業等の復旧・復興を後押しするため、施設及び設備の復旧等に対する経費を助成する。

・補助率：3/4または5/6

【3,966,841千円】

#### 2. 観光誘客緊急対策事業

Go Toトラベル事業実施時に被災地域や風評被害を受けた観光関連産業を支援するため、Go Toトラベル事業と同等の誘客対策を実施する。

・割引額：旅行代金の1/2

\*感染症の状況等を注視し、実施期間等は柔軟に対応する

【1,067,982千円】

### ②社会インフラ等の復旧

被災した道路、河川などの公共土木施設の原形復旧を行う。また、災害の再発防止のため、河道拡幅や護岸かさ上げ等の機能強化を行う。被災農地や水路・ため池等の農業用施設、林道や山地崩壊等の復旧を行う。

【33,302,176千円】

## 2. 新型コロナウイルス感染症対策

### ①感染拡大防止策と医療提供体制の整備

#### 1. 感染症予防対策事業

「新型コロナ」の医療提供体制を強化するため、専用の病棟を設置する医療機関が行う高度医療設備の整備に要する経費を助成する。

・補助対象：生体情報モニタ等

・補助率：10/10

【14,229,922千円】

#### 2. 新型コロナウイルス感染症疑い患者受入体制確保事業

「新型コロナ」疑い患者を受け入れる救急・周産期・小児医療機関(35病院)が行う設備整備や物品購入等に要する経費を助成する。

・補助対象：簡易陰圧装置等

・補助率：10/10

【2,072,229千円】

### ②生活の維持や事業・雇用の継続

#### 1. 生活福祉資金貸付事業

感染症の影響により収入が減少

した世帯(フリーランス、個人事業主を含む)の生計等の維持を図るため、緊急小口資金等の特例貸付を実施する県社会福祉協議会へ貸付原資を補助する。

・補助率：10/10

(緊急小口資金)

・貸付上限：20万円以内

(総合支援資金)

・貸付上限：15万円又は20万円以内

【9,322,608千円】

#### 2. 中小企業・小規模事業者応援金給付事業

感染症による影響の長期化が懸念されるなか、事業の継続・雇用の維持や「新しい生活様式」の実践に取り組む県内の法人や個人事業者に給付する応援金を増額するとともに、給付済みの者に追加給付する。

・法人：給付額50万円

・個人事業者：給付額25万円

【6,943,570千円】

### ③社会経済の再活性化

#### 1. 新しいかたち定着促進事業

ニーズが高まりつつある「ワーケーション」を推進するため、企業と宿泊施設が連携した実証を行う。また、別府コンベンションセンターにおける「3密」防止対策を徹底するため、分散会場として活用可能なスペースの改修等を行う。

【60,192千円】

### 2. 県産品E C販売拡大支援事業

県産品の販売をさらに促進するため、大手E Cサイト等を活用したWEB物産展を開催するとともに、割引クーポンを発行する。

・対象期間：R2.12月～R3.3月

・割引率：30%

【177,957千円】

### 3. 木材消費拡大緊急対策事業

住宅・オフィス等における県産材の利用拡大を図るため、「新しい生活様式」の実践に向けた改修工事に要する経費を助成する。

・補助対象：木工事、内装材等

・補助額：補助率1/2又は面積当たり基準額のいずれか低い金額

【229,188千円】

### ④感染症に強い経済構造の構築

#### 1. 中小企業等テレワーク導入推進事業

在宅勤務やWEB会議等のテレワークを推進するため、優良事例の収集や導入支援セミナーを開催するほか、ICT及び労務管理に関する専門相談窓口を設置する。また、テレワークによる生産性向上等、モデル的な取組を実施するための機器導入等に必要な経費を助成する。

・補助率：2/3 限度額：50万円

【21,071千円】

#### 2. 大分で働く魅力発信事業

「新しい生活様式」に対応した人材確保の手法を普及するため、県内企業や大分の魅力情報等を都市部の学生等に発信するとともに、オンライン企業説明会等を開催する。

【34,680千円】



## 事前の備え

いざという時に備え、災害時の対応方法や防災用品の準備など「災害時の我が家のルール」を家族全員で話し合っておくことが大切です。(一年に一度は家族防災会議を行いましょう)

家族防災会議では、「ハザードマップ等から自分の住む地域の災害リスクを確認」「避難場所や避難所への経路を実際に歩いてみる(昼と夜)」「家庭内の備蓄品、非常持ち出し品の準備(季節も考慮)」「家族の連絡方法の確認」などを話し合い、確認しておきます。

それらの内容は、安全に避難する行動計画「マイタイムライン」に記入しておき、警戒レベルのどの段階で避難行動を始め、何を持ち出すのか等を家族で共有します。

なお、防災用品は家族構成や地域特性によって変わってきますが、できる限り「普段から使えるもの」を揃える、あるいは「普段から使うよう」に心がけておきましょう。(不要に際限なく増えすぎないようにご注意ください)

## 最近の動き

### 7月

#### ▷第2回定例県議会閉会

#### ▷地域課題別研究会 in 日田

過疎化の進む中津江村の地域づくり、林業活性化、豪雨災害で不通となった日田彦山線の復旧等について地元の皆さんと意見交換。

#### ▷APUの学生さんとの意見交換

地球温暖化や海洋プラスチックゴミの問題、気候変動非常事態宣言の発出、環境に配慮した観光づくり等について話し合い。(内容は9月議会で発言に反映)

#### ▷令和2年7月豪雨・災害ボランティアへ参加

記録的短時間大雨情報が発せられ県内各地に大きな被害が発生。コロナ禍の影響で県外からのボランティア参加が制限されるなか、九重町の復旧作業に参加。

#### ▷福祉保健生活環境委員会県内所管事務調査(津久見市社会福祉協議会ほか)

#### ▷政策検討協議会現地調査(県立聾学校、県聴覚障害者センター)ほか



### 8月

#### ▷民間病院における「新型コロナ」対応について意見交換

#### ▷地方自治研究センター学習会

#### ▷大分政経懇話会

#### ▷2021年度当初予算編成に関わる県知事要請

新年度の県予算編成に関し、連合大分の政策提言や働く人の要望を取りまとめた県知事へ要請書を手交。

#### ▷福祉保健生活環境委員会県内所管事務調査(中津児童相談所、NPO法人まど風月館大学校)ほか



### 9月

#### ▷第3回定例県議会開会

#### ▷大分県立病院精神医療センター開所式

多くの県民が待ち望んだ県立精神科を設置。他施設で対応困難な急性期患者等に対し、短期・集中的治療を365日24時間体制で対応。

#### ▷地域課題別研究会 in 宇佐

#### ▷大分政経懇話会、県議会政策検討協議会ほか



公式LINEはコチラ  
木田昇の議会・政務活動を随時更新中。

ご意見・ご要望なども、お気軽にご連絡ください！  
\*QRコードからお友達登録をよろしくお願いします。

竹の子記

「ジャパンライフ」の元会長らが詐欺容疑で逮捕された。容疑は、かつての「豊田商事」事件と同じく、「販売預託商法」を利用したある意味「古典的」な手法とみられます(販売預託商法は法改正により原則禁止になる予定)▼一方、近年は「特殊詐欺」なる新型の詐欺が多数発生しています。県内でも被害が後を絶たず、毎年二億円程度以上の被害が続いており、一人当たりの被害額は高齢者ほど大きい傾向にあるようです▼大分県では「大分県特殊詐欺等被害防止条例」が制定(令和二年四月施行)され、犯行拠点(アジト)・架電先リスト(名簿)対策など、「オール大分」による総合的な対策「が取り組まれていきます▼また最近では、「電子決済不正引き出し」の被害が出ています。▼キャッシュレス社会など便利さを追求するのは良いですが、システムの構造的欠陥の被害を受けるのは国民です。政府においては、厳格な規制とチェックをお願いしたいです▼特殊詐欺被害者の約九割は「自分騙されたい」と思っていたそうです。デジタル化が進む中で、詐欺や不正の手段は更に巧妙化しています。「怪しく感じさせないのが向こうの手法。」「新型コロナ」はもちろん、世の中に潜む様々な危険に十分に注意ください。